

## 【ATC 道標③】

今日は、アークテックコム(株)にて技術書類の作成を行っています豊原 信です。

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail :

[m.toyohara@arcteccom.jp](mailto:m.toyohara@arcteccom.jp)

## 真の勇氣とは

今日は弊社の「道標」の続きの紹介を致します。

このように「大義名分」とは、  
集団の心を繋げる言葉です。

\*\*\*\*\*

## 普遍的な大義名分が必要

集団を率いて、新しいことを成し遂げるには、リーダーとしての管理能力と人の心を魅了する人格が必要です。更に集団の人心をひとつにまとめるための「大義名分」が必要になってきます。その内容は世界中の誰が読んでも、なるほどと賛同できるものであるべきです。

真の勇氣とは、自分達の目的の大義名分やそれを全うする信念を持った人間でなければ出せないのです。打算や損得勘定で生きている人に出せるものではありません。

## 真の勇氣を持つて

つまり、真の勇氣とは、人間として正しいことを追求し、それを正しい方法で実践して貫く信念を持った人でなければ出せないのです。

人間として正しいことを追求するには、「公平」「公正」「正義」

「誠実」「博愛」「勇氣」「勤勉」「謙虚」の内容で考えることが必要です。そして風土や文化や宗教や政治経済や倫理道德のしがらみをちようえつ超越した心を持つことで、真の勇氣を得ることが出来ます。

新しいことに限らず既存の仕事でも、必ず「こうしたい、こうありたい」という希望をワクワクしながら思い描くことが何よりも大切です。

「絶対にやる、必ずできる」と自らに信じ込ませ、達成する具体的な方法を繰返しコツコツと考え、考えた方法の一つ一つ実証する。この実証を繰り返すことで、新しい目標の達成方案が出来上がる。その際、「何としてもやり遂げなければならない」という強い信念と起こりうる全てのリスクを考え、実証しながら対応策も設定する。

我々はベンチャー企業で開拓者です。昨日よりは今日、今日よりは明日、と次から次へと創意工夫を考えていくことが習性です。

「次はこういう仕事をしてみたい」「お客様の要望からこういう新製品を開発してみたい」「こういうマーケットに参入してみたい」などと、常に考えを巡ら

会社全体で共有する明確な目標やビジョンを設定することで、従業員が一体感を持ちやすくなります。例えば、「顧客満足度の向上」や「持続可能な成長」など。そして、すべての従業員が尊重され、公平・公正に扱われる環境を作ること。更に従業員が自己成長やスキルアップを追求できる環境を提供すること。会社が社会に対してどのように貢献しているかを明確にすること等が考えられます。

**ワクワクして考え、何度も具体的な方法を考え、実証を繰返し実行する**

せてワクワクしながら構想します。考え方が纏まったら、次に具体的に方案を何度も繰り返して計画します。この時に、ありとあらゆるリスクを考え、発生時の対応策も考えます。方案に従って実践実証を繰り返して、方案を設定し、計画に従って実践していきます。

実は、ありとあらゆるリスクを真摯に考え、対応策も常に継続して考えると、その内容が潜在意識に透徹します。既にリスクを考え対応策を考えていますから、全く慌てることはありません。よって、楽観的に実行できるのです。

実際、物事を考え、成就させるには、このように楽観的に「やれる」と考えるということが大切なのです。ですから、構想を練るときは、とてつもなく楽観的ワクワクしながら考えます。

### 困難に打ち勝つ

仕事を正しく進めていくためには正しい判断が必要です。仕事に係る全ての人が喜び満足するように判断しないといけません。その為には、物事の本質や真理を掴む努力を行うと同時に、掴まえた本質を使い、その人にとって本當に為になることを考え判断

し、実践して行きます。これを大善の功德と言います。時には、非情に思えることでも実践しなくてはなりません。その為には勇気が必要です。

勇気を出すには、やはり体力、胆力、判断力、断行力、精力、能力等も必要になります。日々、自分自身の心の持ち方や使い方を訓練し、これらの力を身に付けることも必要です。

「真の勇気を持つ」ということは、「闘争心を燃やす」ということと合わせて、経営者にとって非常に大事なことだと思えます。

社長ともなれば、「こんな問題があります」「あんな問題があります」と、部下からさまざまな相談を持ちかけられます。そのときに、それらの問題の本質や真理を掴まえ、正しく考え正しく判断する勇気を持っていないと、間違えた判断をしてしまいます。

例えば、金策に走るにしても、何のための金策なのかを確りと抑える。金策とは負債（貨幣）を創造する活動のことです。その役目を担うのが銀行です。銀行と協力して負債を創造することが正しい経済活動になります。これに反して楽をして闇金融から借りることは、貨幣の創造に

は成りません。経済の正しい発展に貢献しないことになります。ここまで考えて判断しましょう。真の勇気を持つのもそんなに苦ではないと思います。

※2026年04月号に続きます。

\*\*\*\*\*

豊原 信